

將西 沢

並ニ精選白赤味噌

北西線プロセッジン町

女性職業戦線に異状有りとけふ

男子側の盲目連

数年前新市に於て女性が公吏の職に進出せんと猛運動を起した折、之に對抗して男性側から不可論が沸騰した、當時或る一部人士は立法議員を防ぐたる、女性が男性類似の職業競争戦に起つた根絶する様な立法制定を行つた反対論者が指

ものである、而して是等の反対論者が指

した項目は日下福邦労働局で實行し

ある調査表に掲示されるやうに、婦

女子は男子の必要とする俸給の半額にて

勤務する事が出來得る事云ふのを、又

男子の殆んどは家長として兩親弟妹其の

他近親者の援助を爲す、あるに反し、

婦女子は只自己の虚榮心の満足、貧薄な

衣類や物品購入の爲めの稼ぎに過ぎない

のである事云ひ、勿論是等は不正な事で

はないが、附加してある尤も現革命政

府は郵便事務の範囲にのみ婦女子の勤務

を採用して居る、そして交通大臣は最近

は等の郵便事務に勤務するある女性從業

成績な露揚して居るから、是れは恐らく婦

人を怖るべき競争者として居る場合に

可なり大なる恐怖である、然るに遠い

會交運大臣の辭を見るに、婦

の女性の要義は現代生活上では是非參

加せしむべきだあるし、又最近労働者

で商業に從事しつゝある婦女子の各職業

に就いて調査した結果に依る事、伯爵婦

女等は非常に注意深く、勤勉で且つ仕事

に一意專心に精進し、其の上男子側の要

求める程の給料は要らぬ事云ふ理由を考

えて居る、それで反対論者は男子側は新

しい如きの競争が現はれたる事云ふのを

現在の如きの競争の方法では満足出来

る事は外人に餘程難しいと見え

て居る、四十から七十歳迄の

間の年齢のお婆さんと言つて居

る事は、此の老婆は若い時を想像さ

せる美しさを持つて居て、何處

か菊の香を漂はせ故郷の島帝國

遙か彼方の祖国、相争ふ同文同

種の民族に就て語り、活々と笑

べきものだ、何千哩もの大洋が

間をへて、驕がしさが薄らひ

て居て、其れ程の刺戟も興味も

起らぬひと此のお婆さんは語つ

う、記者は質ねる

一九三〇年十一月三十日

日本青年は微笑した、不思議だ

△若規範は開港場上陸相に時局多端何

時上泰御難下か仰がねばならぬか判

